平成 24 年第１回新潟市議会 議会報告会 環境建設常任委員会報告

（平成 24 年 2 月定例会報告）

１　新たな交通システム推進事業（4,700 万円）について

（１）事業の目的・概要

人の移動が多い都心部において、自動車を使わなくて快適に移動できるサービスレベルの高い新たな交通システムの導入を目指すとして事業を進めている。

具体的には、まず新潟駅から白山駅まで、ＢＲＴ（連節バスの運行）を導入し、将来的には、新潟駅から鳥屋野潟南部・市民病院まで拡張予定。

（※　ＢＲＴ＝Bus Rapid Transit・ﾊﾞｽﾗﾋﾟｯﾄﾞﾄﾗﾝｼﾞｯﾄ＝次世代型バスシステム）

（２）今年度の具体的な事業内容

新たな交通システムの早期導入に向け、実施計画・都市計画決定の手続きやシンポジウムを開催するなどして市民の合意形成を図る。

（３）常任委員会での議論

・連節バスは約 8,000 万円という高額
・既存バスの改善では不十分なのか
・メリット・デメリットを示しながら、ＢＲＴ導入ありきではなく、民意をくみ上げ市民合意を図る必要がある

２　健幸すまいリフォーム支援事業（3 億円）について

（１）事業の目的・具体的な事業内容

住宅のバリアフリー化や子育て世帯と親世帯との同居や近居（近くで住むこと）への支援を通じて、空き家の活用や地域経済の活性化を促進する。

[具体的な事業内容]

対象工事	・ バリアフリーリフォーム工事（基本工事） ・ バリアフリーリフォーム工事と併せて行う居住環境の維持・向上を図るために必要な住宅リフォーム工事（プラス工事）
対象要件	・ 上記リフォーム工事の対象経費の合計額が２０万円以上のもの ・ 市の他の助成事業の対象となっていない工事 ・ 市内に本社、本店、支店、営業所がある業者又は市内の個人事業主に発注する工事
助成率・助成額	・ 一般世帯　：対象経費の１／１０　上限２０万円 ・ 子育て世帯　：対象経費の２／１０　上限３０万円 ・ 親子近居世帯　：対象経費の２／１０　上限３０万円 ・ ３世代同居世帯　：対象経費の２／１０　上限４０万円

（２）常任委員会での議論

・７月からの受付とのことだが、少しでも早く実施すべき
・申請書類をわかりやすくすること
・交付決定は抽選とのことだが、申請者全員が対象となるよう工夫すべき
・今年度だけではなく次年度以降も継続すべき

３　放射性物質を含む浄水汚泥の管理・保管等（約５億円）について

（１）常任委員会での議論

・保管場所の確保、管理・運搬・処分における安全確保
・周辺住民の理解を得ること
・費用の補償を国、東京電力に求めること

４　東日本大震災で発生したがれきの受け入れに関する議論

３・１１大震災で発生したがれきの受け入れ処理について、岩手県・宮城県のがれきを残留放射能に関する安全性を十分検証し、市民の皆様への説明を十分に行うことを前提に、通常の廃棄物相当と判断されるがれきについては、新潟市も受け入れて処分すべき、といった議論をしました。